

令和2年度事業計画書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会の目的達成「近畿地区において、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、もって一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与する」を目指し、次のとおり事業を実施します。

令和2年度の事業は、公益目的事業として、船との出会い事業「海の教室」、「海の日」・「海の月間」関連行事広報、「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」祝賀会、中学生海の絵画コンクール、中学生海の作文コンクール、海の写真コンクール、海事知識の啓発事業を、近畿運輸局・（公財）日本海事広報協会・（一財）日本モーターボート競走会をはじめとする関係機関と連携し実施するほか、その他事業（相互扶助等事業）として、海事関係団体と連携し各種行事の共催・協賛・後援等を行なうとともに、海事知識啓発資料や海事広報宣伝物の配布など海事広報活動を行います。

I、公益目的事業

1、体験活動等（公益目的事業の事業区分4）

（1）船との出会い事業「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存している我が国では、海運・造船・舶用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

このため、（公財）日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」と連携して、特に若い世代の海への理解を深めるとともに、教育現場の理解を得るため、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験、船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学を行う体験型学習会「海の教室」を近畿運輸局との共催により開催します。

2、海の日キャンペーン、海の月間（公益目的事業の事業区分8）

（1）「海の日」・「海の月間」関連行事広報

（公財）日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業と連携して、青少年をはじめ広く一般市民の海事に対する関心を高め、海や海事産業等の重要性を認識してもらうことを目的に、各種広報事業の効果的な推進を図ります。

海事思想普及のため、国土交通省の主唱の下、各地で実施される「海の日」・「海の月間」に関する施策に参加するとともに、国民の祝日「海の日」（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）の意義を理解してもらうための広報活動を積極的に展開します。

(2) 「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」祝賀会

令和2年「海の日」を迎えるにあたり、近畿運輸局・運輸支局・海事事務所の所在地において海事関係功労者表彰式が行われます。当協会は、「海の日」キャンペーンの一つとして、「海の日」における表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」の候補者を推薦します。

また、近畿運輸局並びに大阪海上保安監部の主催による「海事関係功労者表彰式典」の開催に協力するとともに、「中学生海の絵画コンクール」・「海の写真コンクール」の近畿運輸局長賞・大阪海上保安監部長賞・大阪府知事賞・大阪市長賞について表彰式を共催します。

「海の日」祝賀会は、海事関係・物流関係団体の協賛をいただき、表彰式典と一連の行事として当協会の主催により開催します。受賞者やご家族・一般市民（受賞者の知人等）・行政・報道・海事・物流関係の皆さまとともに「海の日」を祝い、海からの恵と、そこで仕事に精出す人々に感謝し海事産業の重要性を再認識するとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着していくことを目指した海事広報活動です。

3、 表彰、コンクール（公益目的事業の事業区分14）

(1) 第57回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う近畿各地の中学生のみなさんから「海の絵画」を募集することによって、海事に関する関心を高めるとともに、海事知識の啓発に寄与することを目的に、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援をいただき「中学生海の絵画コンクール」を開催します。

応募作品の審査は審査会を開催し受賞作品40点を選び表彰します。また、全ての受賞作品を当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」とホームページ・フェイスブックに掲載します。

併せて、（一財）サークルクラブ協会・（公社）日本海洋少年団連盟主催の全国絵画コンクールである、第48回絵画コンクール「我ら海の子展」中学生の部に、全ての応募作品を団体として応募します。

(2) 第54回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、近畿各地の中学生のみなさんから「海の作文」を募集することによって、海事に関する関心を高めるとともに、海事知識の啓発に寄与するため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援をいただき、海運・造船・港湾といった範囲にとどまらず、広く海にかかわるものを題材とする「海の作文」を募集し、大阪文学学校の講師を審

査員とし受賞作品 40 点を選び表彰します。

また、上位受賞作品 10 点については当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全ての受賞作品を当協会のホームページ・フェイスブックに掲載します。

(3) 第 42 回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、海・船・港・湖・川・魚など広く海に関係するテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集します。

このため、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、(公財)関西・大阪 21 世紀協会、(株)海遊館、(一社)日本長距離フェリー協会、(一社)日本海事代理士会、(株)日本海事新聞社、(株)海事プレス社の後援を得て、(公財)海上保安協会大阪支部、大阪府港湾協会、(公社)大阪港振興協会、大阪写真組合、大阪フェリー協会、近畿旅客船協会の協賛を得るとともに、フェリー・旅客船の各船社にご協力いただき、審査会を開催し受賞作品 41 点を選び表彰します。

また、全ての受賞作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」とホームページ・フェイスブックに掲載するとともに、(一財)日本モーターボート競走会から受託する事業と連携し、ボートレース場・ボートピアにおいて「第 42 回海の写真コンクール受賞作品展」を開催します。

4、 上記の事業区分に該当しない公益事業（公益目的事業の事業区分 18）

(1) 海事知識の啓発・普及事業

(一財)日本モーターボート競走会から受託する事業と連携し、海事知識の啓発・向上を図るため、ボートレース場等で行なわれている各種イベント会場や「海の日」・「海の月間」関連行事などを活用して、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズの配布などを行なうことにより、海事知識の啓発・普及事業を行います。

II、その他事業（相互扶助等の事業）

1、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないます。

- イ 各地区の海事関係団体が実施する「海の日」・「海の月間」行事
- ロ みなと祭り等の各港湾における行事
- ハ 海の日・新年・海上安全祈願祭
- ニ その他の海事広報活動

また、会員の皆様と関係者に対し「近畿海事広報協会たより」・「世界の帆船カレンダー」を作成・配布するとともに、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成されたパンフレットなど海事知識普及資料の配布を行います。